

Ⅱ. 分担研究報告

A. より効果的な HIV のスクリーニング検査体制を構築するための研究

A-1 HIV 即日検査の試験的実施とその普及への試み

—ホームページ「HIV 検査・相談マップ」との連動— (嶋 貴子)

A-2 栃木県南健康福祉センターにおける即日検査実施状況 (一色ミュキ)

A-3 江戸川保健所における HIV 即日検査の導入とその現状 (小泉京子)

A-4 北海道における即日告知導入後の検査実地状況 (本間 寛)

A-5 北海道における HIV 検査・相談体制に関するインターネット調査(速報) (玉城英彦)

A-6 東京都の HIV 検査体制と検査結果の解析 (貞升健志)

A-7 南新宿検査相談室の HIV 検査体制と検査結果の解析 (山口 剛)

A-8 大阪府の検査体制と検査結果の解析 (大竹 徹)

A-9 保健所等における HIV 即日検査の普及に関する研究 (中瀬克己)

A-10 HIV 即日検査相談の保健所事業への導入に要する

「必要追加研修」および「事業モニタリング・評価」に関する検討 (橘 とも子)

A-11 保健所等 HIV 検査機関における NAT スクリーニング検査の試験的導入(嶋 貴子)

A-12 地域特性を生かした保健所 HIV 検査体制の構築 (河原和夫)

A-13 ニューヨーク市の HIV 迅速検査の普及及び検査事業推進の評価法に関する考察 (木村和子)

A-14 日本赤十字社における新たな HIV 対策と今後の課題 (金光公浩)

B. HIV 検査陽性者(感染者)のケアーのため

より効果的な HIV のフォローアップ検査体制を構築するための研究

B-1 HIV-1 RNA 定量キットのコントロールサーベイ (加藤真吾)

B-2 長期 HAART 施行症例における pDNA の推移とその臨床的意義 (吉村和久)

B-3 HIV-1 プロウイルス定量の臨床的意義について (金田次弘)

B-4 Real time PCR を用いた HIV-1 プロウイルス定量法の検討 (近藤真規子)

B-5 LTR, gag, pol 領域を用いた HIV-1 プロウイルス定量法の検討 (向出雅一)

B-6 HIV-1 の多様性に関する研究

—カメルーン(ピグミー族、バンツー族)の HIV-1 遺伝子の解析— (市村 宏)

B-7 nonB HIV における薬剤耐性試験と感受性試験のデータの構築について (蜂谷敦子)

B-8 薬剤耐性変異の解析法の開発・改良・技術研修に関する研究

薬剤耐性検査の実用化と衛生研究所等への技術移管 (杉浦 互)

**A. より効果的な HIV のスクリーニング検査体制を
構築するための研究**

A-1. HIV 即日検査の試験的実施とその普及への試み

—ホームページ「HIV 検査・相談マップ」との連動—

嶋 貴子 (神奈川県衛生研究所)	清水茂徳 (ライフ・エイズ・プロジェクト)
潮見重毅 (栃木県県南健康福祉センター)	堀 成美 (東京都立駒込病院)
塚田三夫 (栃木県県南健康福祉センター)	角田英久 (ライフ・エイズ・プロジェクト)
一色ミユキ (栃木県県南健康福祉センター)	渡部享宏 (Campus AIDS Interface)
安成律子 (江戸川保健所)	澤畑一樹 (三菱化学 BCL)
工藤伸一 (北海道立衛生研究所)	大竹 徹 (大阪府立公衆衛生研究所)
西大條文一 (北新宿同仁斎メディカルC)	小林米幸 (小林国際クリニック)
赤枝恒雄 (赤枝六本木診療所)	尾上泰彦 (宮本町中央診療所)
大國 剛 (大國診療所)	大里和久 (大里クリニック)
尾関全彦 (尾関皮膚泌尿器科)	岩澤晶彦 (岩澤クリニック)
保科眞二 (保科医院)	上村茂仁 (ウイメンズクリニック・かみむら)
吉尾 弘 (吉尾産婦人科医院)	上村 哲 (上村病院)
江畑貴文 (文化村通りクリニック)	多和田俊保 (たわだ泌尿器科)
近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)	今井光信 (神奈川県衛生研究所)

研究要旨

日本におけるエイズ発生動向調査のHIV/AIDS報告数、血液センターおよび保健所等無料検査機関でのHIV検査陽性数はいずれも増加傾向を示しており、特に保健所等無料検査機関で判明するHIV検査陽性数の増加率は高くなっている。また、保健所等無料検査機関での陽性数の多くは、夜間・土日検査のような利便性の高い検査機関に集中している。現状の保健所等無料検査機関でのHIVスクリーニング検査体制をさらに効果的なものにするために、民間クリニックおよび保健所において即日検査を試験的に実施し、即日検査の有用性、実施における問題点等の検討を行った。

即日検査の試験的導入は民間クリニック12ヶ所および保健所1ヶ所で実施した。民間クリニックにおいては、年々受検者数が増加しており、2004年の検査数は10485件、陽性数は41件と、前年に比べ検査数・陽性数ともに増加し、検査数は保健所等無料検査での検査数(68774件)の約1/6に達する数となった。また、1クリニックの受検者に対するアンケート調査の結果では、受検者の約9割はホームページ「HIV検査・相談マップ」を見て受検しており、即日検査の実施と共に、継続的な検査情報の提供の必要性が確認された。保健所である栃木県県南健康福祉センターでは、即日検査導入年(2003年)のHIV検査数は455件と2002年に比べ3.5倍、導入2年目(2004年)では814件と6.3倍に増加した。

平成15年までの研究成果に基づき、「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン(平成16年3月版)」が研究班ガイドライン作成委員によって作成され、厚生労働省より自治体、保健所、衛生研究所およびエイズブロック拠点病院の1155箇所に配布された。その結果、平成16年度には保健所41箇所、特別検査機関3箇所(15自治体)において即日検査が開始された。特に東京都江戸川保健所では、受検者数が前年度比の11倍となり、即日検査実施への反響の大きさが示された。ガイドラインは検査前・後の相談、説明体制についてさらに詳しく記載された第2版の作成が行われた。今後は、保健所で増えつつあるHIV即日検査実施機関の実施状況、検査数の動向等の解析を行い、さらに効果的な即日検査の実施に向けて評価を行っていく予定である。

目的

検査希望者にとって利便性が高く、より効果的な HIV スクリーニング検査体制を構築することを目的として、HIV 迅速診断キットを用いて、受検者に即日結果返しを行う「HIV 即日検査」を民間クリニックおよび保健所に試験的に継続的に実施し、受検者数・陽性数等の動向を調査した。また、「保健所等における HIV 即日検査のガイドライン（平成 16 年 3 月版）」の配布をうけて、行政事業として新たに即日検査を開始した保健所等検査機関について実施状況等を調査した。これら即日検査実施機関の詳細情報をホームページ「HIV 検査・相談マップ」上に掲載し、受検者に対するアンケート調査から、ホームページを見て来所した受検者の割合を調査するとともに、ホームページ上の即日検査機関情報へのアクセス状況の解析も合わせて検討を行った。

1. HIV 迅速診断キットを用いた即日結果返し（即日検査）の試験的導入

日本におけるエイズ発生動向調査の HIV/AIDS 報告数、血液センターおよび保健所等無料検査機関での HIV 検査陽性数はいずれも増加傾向を示しており、特に保健所等無料検査機関で判明する HIV 検査陽性数の増加率は高くなっている。しかし、保健所等無料検査機関での陽性数の多くは、夜間・土日検査のような利便性の高い検査機関に集中していることが分かっている。現状の保健所等無料検査機関での HIV スクリーニング検査体制をさらに効果的なものにするために、民間クリニックおよび保健所において即日検査の試験的実施を継続し、受検者数・陽性者数等の動向を調査すると共に、即日検査導入の効果について検討を行った。

①民間クリニックでの即日検査実施状況

2001 年 5 月から HIV 検査に理解のある都市部の民間クリニックと連携して、即日検

査を試験的に導入している。2004 年 12 月末では、全国 12 ヶ所の民間クリニックで実施した（図 1）。これらの民間クリニックにおける HIV 検査情報はホームページ「HIV 検査・相談マップ」上で紹介を行った。

一番早い時期（2001 年 5 月）から即日検査を導入している東京都の D クリニックの検査実施状況（定点調査）を示した（図 2）。2004 年 12 月までに 5510 件の検査を実施し、うち確認検査数が 68 件、陽性数が 44 件（陽性率 0.8%）、偽陽性数が 24 検体（偽陽性率 0.4%）となった。検査数は年々増加傾向にあり、2004 年では 1796 件、陽性率は 0.9% となった。陽性率は東京都の保健所等無料検査での陽性率 0.9%（総括研究報告 図 4 参照）と一致している。受検者特性としては、性別は男性が 87% を占め、年代別では 20 代、30 代が 86% を占めていた。陽性者は 20 代、30 代男性が 75% を占めていた。

2004 年の民間クリニック（12 クリニック）での合計の即日検査数は 10485 検体、陽性数は 41 検体（陽性率 0.4%）となり、前年に比べ検査数・陽性数ともに増加した（図 3）。検査数は保健所等無料検査での検査数（68774 件）の約 1/6 に達する数となった。また、感染初期と思われる陽性例（HIV-1 PA 価 1000 倍未満）が 8 例（前年比 4 倍）と、感染機会からより早い時期に検査を受ける受検者の増加が示唆された。STD クリニック、婦人科クリニック別に検査数・陽性数を見ると、STD クリニックは検査数 8307 件・陽性数 41 件、婦人科クリニックは検査数 2032 件・陽性数 0 件であり、検査数の 8 割、陽性数はすべて STD クリニック受検者であった（図 4）。また、陽性率は男性が 0.6%、女性が 0.1% と、男性での割合が依然として高い傾向にあった。婦人科クリニックではこれまでも陽性例は見られていないが、これらクリニックでは CSW の定期的に受検している例も多く、定点機関として今後も継

続して動向を注視して行く必要があると思われる。

東京都の0クリニックの受検者に対して自記式アンケート調査を実施した(n=929)。「保健所でHIV検査が無料で行われているのを知っているか?」の間については、「知っている」と答えた人が97%を占め、大部分の人が有料にも関わらず、クリニックで受検していた(図5)。「この検査機関を知った手段」の間に対しては、『HIV検査・相談マップ』から情報を得た」と回答した人が92%を占めており、ホームページによる情報提供の有用性、広報を行うことの重要性が確認された(図6)。また「HIV検査(迅速検査、通常検査)についてどう思うか(複数回答可)」の間に対しては、「迅速検査は結果がすぐに分かってよい」という回答が94%、「保健所でも迅速検査を行って欲しい」という回答が67%を占め、即日検査に対する要望の高さが認められた(図7)。平成17年度では17箇所の民間クリニックで実施予定となっており、検査希望者のHIV検査への利便性を高めるために、さらに都市部に即日検査導入クリニックの増設を進めたいと考えている。また、民間クリニックはHIV検査数・陽性数の動向把握のための定点機関としても大きな役割を果たすと考え、今後もクリニックとの連携を継続していきたいと考えている。

②保健所での即日検査モデル研究

保健所への即日検査のモデル研究は、2003年1月から栃木県県南健康福祉センターで実施している。検査受付日時は毎週水曜日、13時~14時となっている。これまでの検査数の動向を見ると、即日検査導入年(2003年)のHIV検査数は455件と2002年に比べ3.5倍、導入2年目(2004年)では814件と6.3倍に増加した(図9)。特に、2004年では東京都江戸川保健所において栃木県県南健康

福祉センターと同曜日・同時間帯に即日検査を実施したにも関わらず(江戸川保健所検査受付日時:隔週水曜日、14時~16時)前年に比べ検査数がさらに増加しており、新たな検査希望者の掘り起こしがされたものとする。(詳しくは、分担研究報告書“栃木県県南健康福祉センターにおける即日検査実施状況”一色ら 参照)

③行政事業として新たに即日検査を開始した保健所等検査機関での実施状況

民間クリニックと栃木県県南健康福祉センターにおける平成15年までの研究成果に基づき、「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン(平成16年3月版)」が研究班ガイドライン作成委員によって作成され、厚生労働省より自治体、保健所、衛生研究所およびエイズブロック拠点病院の1155箇所に配布された(図10)。これを機会として、HIV即日検査に関する情報が新聞等で多数報道されたこともあり(図11)、平成16年度は保健所41箇所、特別検査機関3箇所(15自治体)において行政事業として即日検査が開始された(図12)。その中でも東京都江戸川保健所では、受検者数が前年度比の11倍、一回あたりの平均受検者数が71人となり、即日検査実施への反響の大きさが示された(図13)。(詳しくは、分担研究報告書“江戸川保健所におけるHIV即日検査の導入とその現状”小泉ら 参照)

また、北海道でも道立保健所で即日検査が実施され、受検者数は前年比1.8倍、中でも比較的人口の多い都市分の保健所で増加が顕著であった。(詳しくは、分担研究報告書“北海道における即日検査導入後の検査実施状況”本間ら 参照)

平成17年度は、さらに即日検査を開始する保健所が増設予定である(図14)。より効果的な即日検査の実施に向けて、即日実施機関の検査状況等の動向調査を継続すると

もに、即日検査導入の効果・問題点等を解析し、問題点については早急に改善を加え、検査機関に還元できるフォロー体制を継続していきたい。

2. ホームページ「HIV 検査・相談マップ」での HIV 検査情報の提供

保健所等での HIV 無料検査や即日検査、NAT 検査、イベント検査等、HIV 検査に関する情報を詳しく、より多くの人に提供することを目的としたホームページ「HIV 検査・相談マップ」(<http://www.hivkensa.com>) を開設し、HIV 検査情報を提供している(図15)。現在、全国主要都市の保健所の他にも、即日検査を実施している保健所等無料検査機関、民間クリニックの掲載に力を入れている。民間クリニックや栃木県南健康福祉センターのアンケート調査結果では、即日検査受検者の多くが当ホームページをみて受検していることが分かっており、HIV 検査機関紹介に大きな役割を担っていることが分かった。以下、パソコンからのホームページのアクセス数解析結果について報告する。

ホームページアクセス数解析

ホームページへのアクセス数解析を行ったところ、2004年12月の1日平均アクセス数は約2300件であり、総アクセス数は150万件に達した。また2004年1年間の合計アクセス数は約72万件となり、当ホームページが HIV 検査情報を提供する媒体として非常に有効に活用されていることが分かった。

トップページにある5つのカテゴリー検索(保健所無料検査、夜間・土日検査、即日検査、NAT検査、性感染症検査)のアクセス数では、「即日検査」、「夜間・土日検査」にアクセスが多いことが分かった(図20)。また検査機関の詳細ページアクセス数を調べたところ、「即日検査」、「夜間・土日検査」を行っている機関にアクセスが集中しているこ

とが分かった。検査希望者にとって「即日検査」、「夜間・土日検査」のような受検者にとって利便性の高い検査機関に関心の高いことが分かり、これらのような検査機関の設置が大きく期待されていることが分かった。

まとめ

HIV 即日検査は着実に実施検査機関が増加しており、全国的に、検査希望者にとってより利便性の高い HIV 検査機会の提供に大きく寄与しつつある。ソフト面では、即日検査の検査前・後の相談、説明体制についてさらに詳しく記載した「保健所等における HIV 即日検査のガイドライン(第2版:平成17年3月版)」がガイドライン作成委員によって作成され、全国自治体、保健所、拠点病院等に配布された。今後も、即日検査の実施機関の経験や実情に基づく意見を反映させ、随時改訂版を作成していく予定となっている。新たに即日検査を開始する保健所が増加するとともに、バックアップ体制の維持も重要な課題となる。保健所等無料検査機関において HIV 検査事業が効果的に実施され、またその一助としての HIV 即日検査体制が有効に機能するよう、今後も即日実施機関の検査状況等の動向調査を継続するとともに、即日検査導入の効果・問題点等を解析し、問題点については早急に改善を加え、検査機関に還元できるフォロー体制を継続していくことが必要と考える。

学会発表

嶋 貴子、西大條文一、潮見重毅、中瀬克己、今井光信. HIV 即日検査の試験的実施とその普及への試み. 第18回日本エイズ学会学術集会・総会 2004年12月9-11日(静岡)

マスコミ等での紹介

(新聞)

*共同通信 (平成 16 年 5 月 27 日)

HIV 感染すぐ判明 即日検査、保健所に普及へ (即日検査ガイドライン紹介)

*読売新聞 (平成 16 年 6 月 21 日)

広まるエイズの即日検査
(即日検査ガイドライン、「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介)

*日本経済新聞 (平成 16 年 8 月 3 日)

HIV 即日検査広がる
ー通知まで 40 分、受検者が急増ー
(栃木県県南健康福祉センターの即日検査、「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介)

*毎日新聞 (平成 16 年 10 月 7 日)

HIV 即日検査 自治体の 1 割導入
(即日検査ガイドライン紹介)

*読売新聞 (平成 16 年 10 月 18 日)

HIV 1 時間で判定 受検者 10 倍増も
(江戸川保健所の即日検査、即日検査ガイドラインの紹介)

*公明新聞 (平成 16 年 11 月 9 日)

広がる エイズ感染
(HIV 即日検査、即日検査ガイドラインの紹介)

(雑誌)

*Confronting HIV 2004 (no. 25 2004 年 5 月)

(SUBNOTE) HIV 迅速検査

*週刊文春 (2004 年 9 月号)

うっさないで治療を! 30 分で「HIV 検査」
できる全国の施設
(HIV 即日検査、「HIV 検査・相談マップ」
アドレス紹介)

*B A d i (2004 年 11 月号)

(「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介)

*Just Health (2004 年 12 月号)

もしかして A I D S ! ? の正しい対処法
(記事監修、HIV 即日検査、「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介)

*日経ビジネス Associe (2004 年 12 月号)

その場で判明する HIV 検査
(インタビュー記事、HIV 即日検査、「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介)

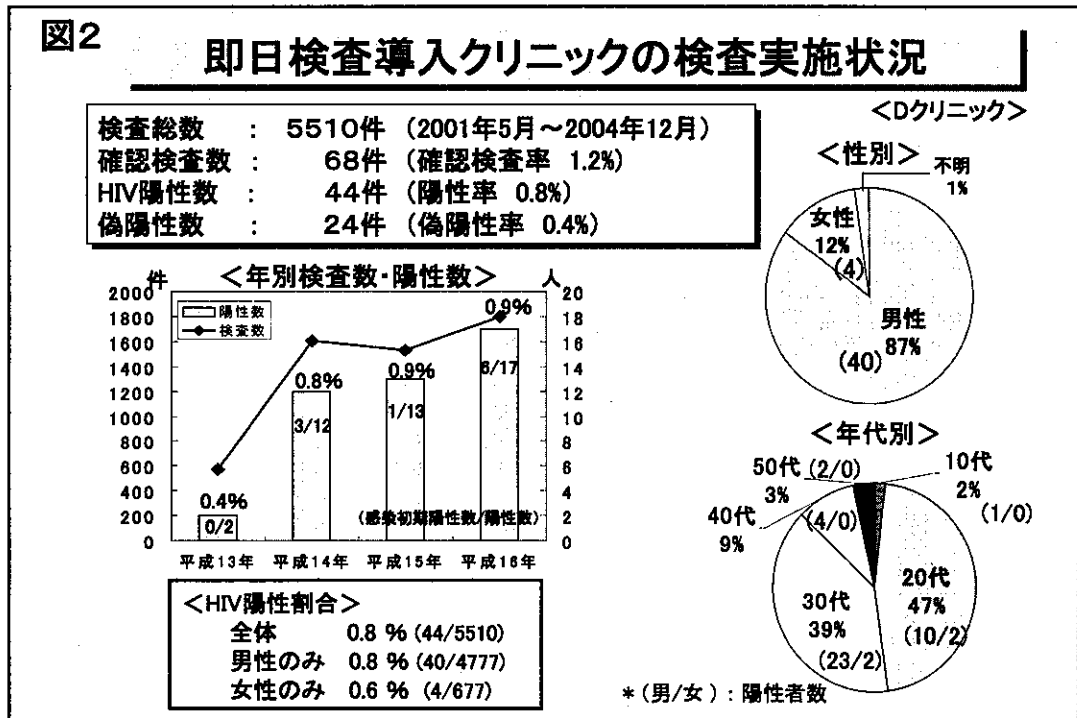
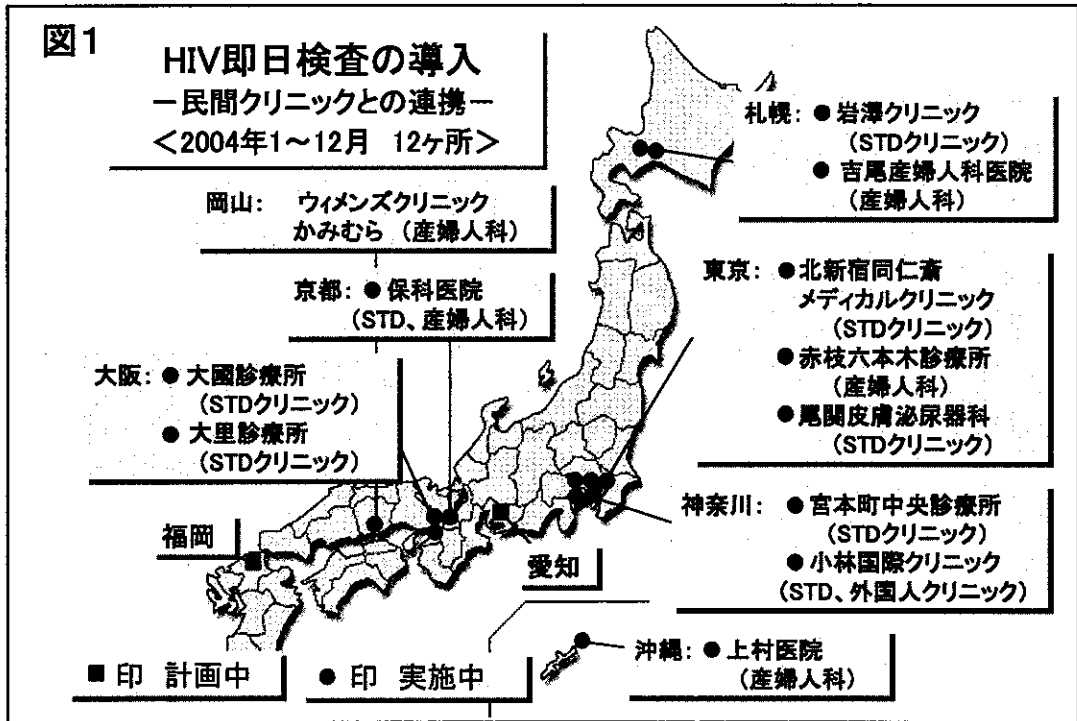
*健康教育 (2004 年 12 月号)

エイズ/HIV 感染のひろがりと予防教育
(「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介)

*厚生労働 (2005 年 1 月号)

我が国のエイズ対策と今後の課題
<寄稿> HIV 迅速検査 (を用いた即日検査)
の現状と今後の展望について

(※マスコミ等での紹介は研究班で把握しているもののみ記載してあります。)



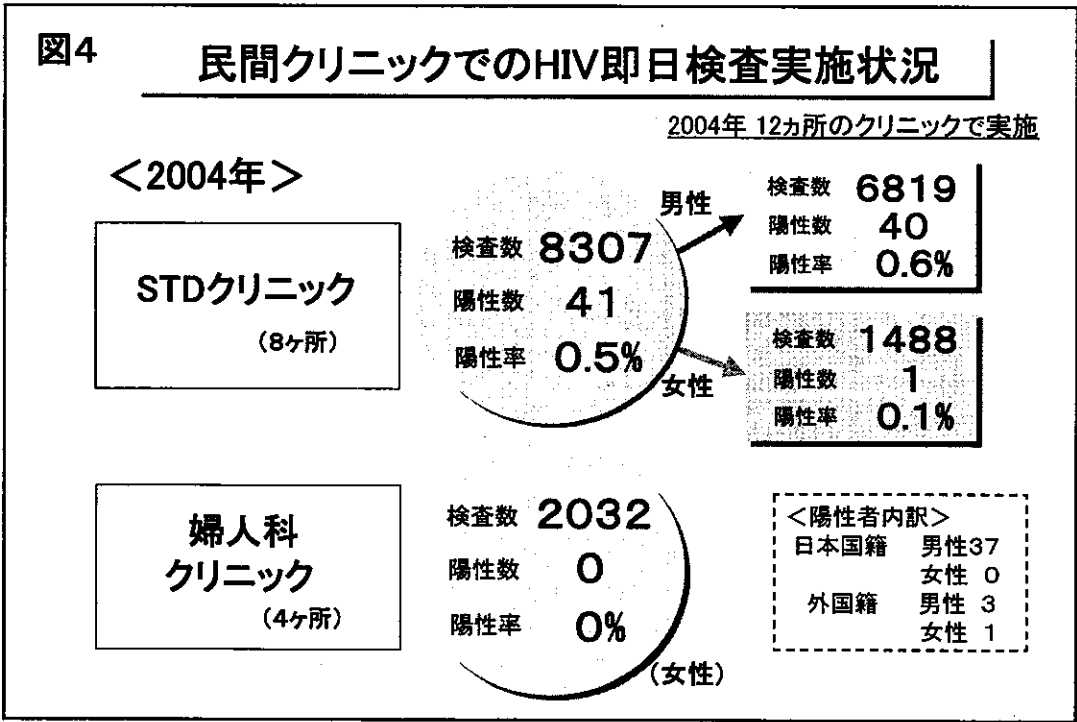
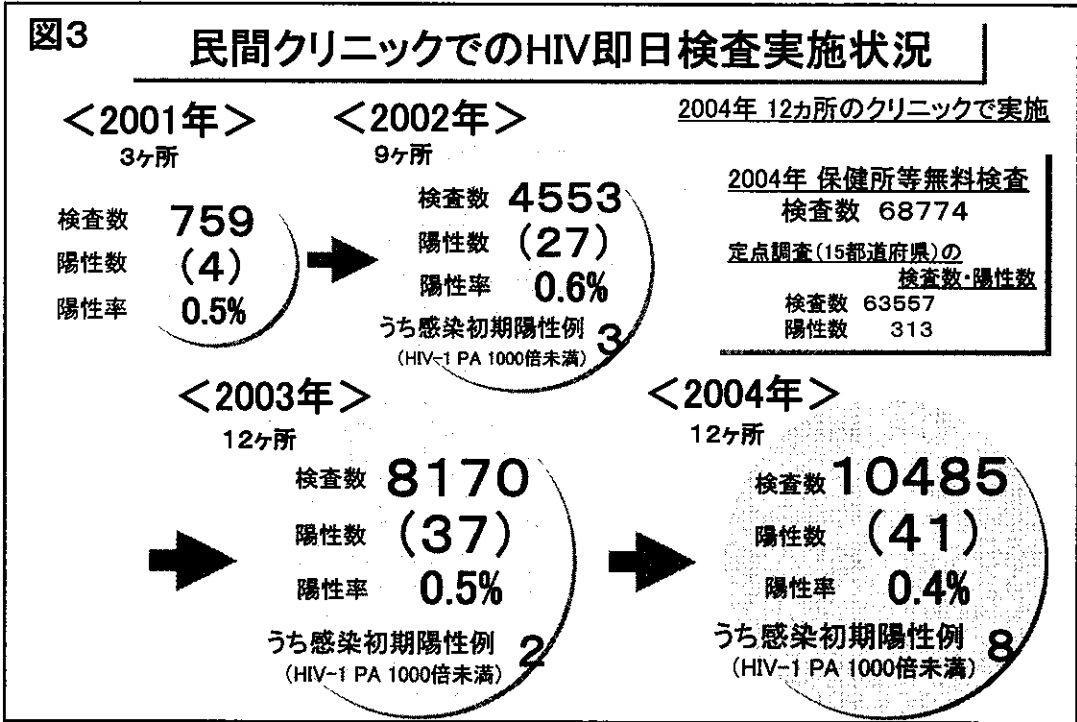
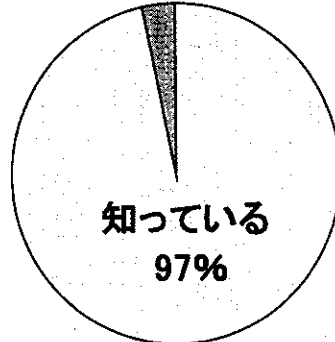


図5

即日検査導入クリニックのHIV検査希望者に対するアンケート調査結果

Q. 保健所でHIV検査が無料で行われているのを知っていますか？

知らない 3%

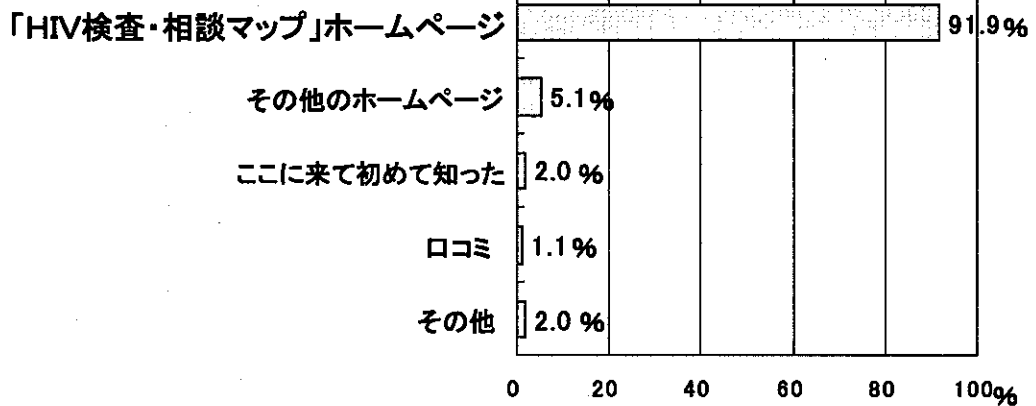


(Oクリニック H16.1~12月 n=929)

図6

即日検査導入クリニックのHIV検査希望者に対するアンケート調査結果

Q. このクリニックがHIV迅速検査を実施していることを知ったのは？



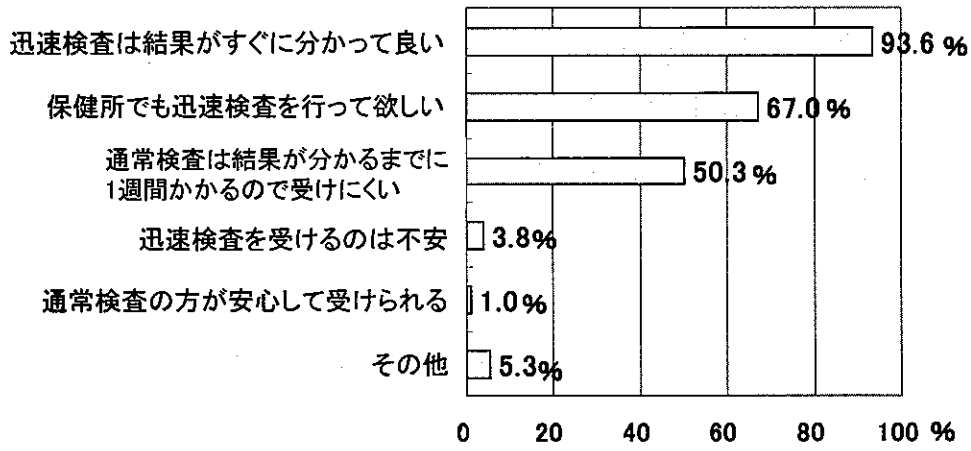
(Oクリニック H16.1~12月 n=929)

図7

即日検査導入クリニックのHIV検査希望者に対するアンケート調査結果

Q. HIV検査(迅速検査、通常検査)についてどう思いますか？

(複数回答可)



(Oクリニック H16.1~12月 n=929)

図8 HIV即日検査の導入

—民間クリニックとの連携—
<2005年 実施17ヶ所>

● 印 実施中 17

■ 印 準備中 1

札幌: 岩澤クリニック (STDクリニック)
吉尾産婦人科医院 (産婦人科)

東京: ● 北新宿同仁齋
メディカルクリニック (STDクリニック)
● 赤枝六本木診療所 (産婦人科)
● 尾関皮膚泌尿器科 (STDクリニック)
● 文化村通りクリニック (STDクリニック)
● 山の手クリニック (STDクリニック)
● ひろクリニック (STD)
● 新宿東口クリニック (STDクリニック)

神奈川: ● 宮本町中央診療所 (STDクリニック)
● 小林国際クリニック (STD、外国人クリニック)

岡山: ● ウィメンズクリニック
かみむら (産婦人科)

京都: ● 保科医院 (STD、産婦人科)

大阪: ● 大國診療所 (STDクリニック)
● 大里診療所 (STDクリニック)

福岡: ■ さぎやま泌尿器
クリニック (STDクリニック)

愛知: ● たわだ泌尿器科 (STDクリニック)

沖縄: ● 上村医院 (産婦人科)

図9

保健所でのHIV即日検査実施状況

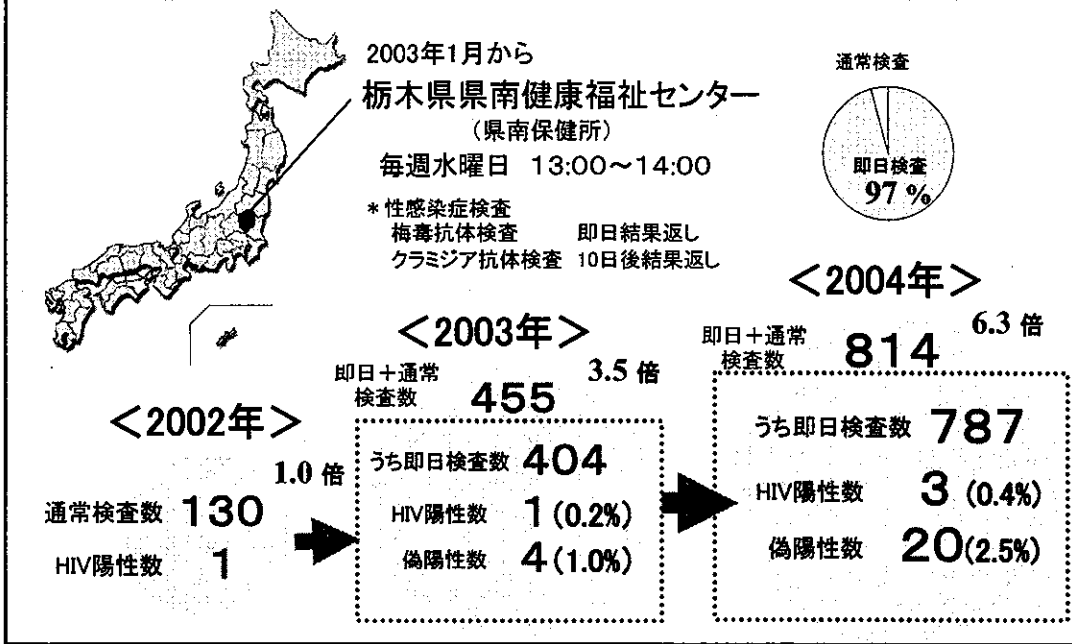


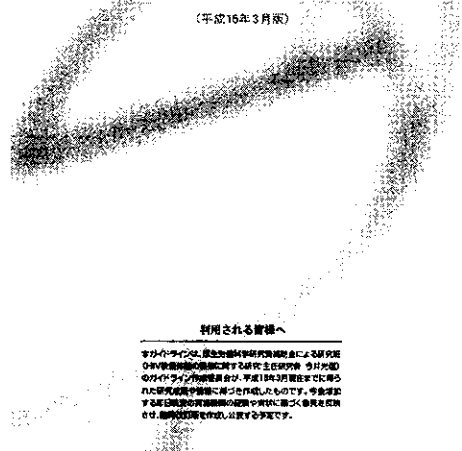
図10



HIV検査体制の構築に関する研究班
 The Study Group on the Development of HIV Testing Systems
<http://www.hivstg.com>

保健所等における HIV即日検査のガイドライン

(平成16年3月版)



利用される皆様へ

本ガイドラインは、厚生労働省研究費助成による研究班
 のHIV検査体制の構築に関する研究 主任研究員 寺井光昭
 氏が本ガイドラインの作成委員及び、平成16年3月現在までに得ら
 れた研究結果や経験に基づき作成したものです。今後実施
 するHIV即日検査の質を向上させるために、貴保健所
 には、本ガイドラインを参考に、実践することを希望します。

保健所等における HIV即日検査のガイドライン (平成16年3月版)

<配布先>

- ◆ 都道府県、政令指定都市等
自治体HIV担当主管課
- ◆ 保健所
- ◆ 衛生研究所
- ◆ ブロック拠点病院

計 1155箇所

図11

広まるエイズの即日検査

エイズウイルス感染が約90分で分かる無料検査が普及し始めた。昨年導入した栃木県県南健康福祉センターに続き、東京都江戸川保健所や北海道の一部保健所も開始。厚生労働省も今年、名古屋市と大塚市の繁華街で休日に実施する予定だ。通常の検査だと結果が出るまで1〜2週間かかり、結果を聞きに来ない人もいる。感染が増加にもかかわらず、保健所で検査を受ける人はほとんど増えず、効果的な検査傾向が顕著だった。ただ、即日検査では、感染していないのに陽性が出る「偽陽性」が約1%ある。「陽性」ときの説明や対応が大切です」と神奈川県衛生研究所の今井光徳所長はいう。今井さんが部長を務める厚生省研究班はこの3月、即日検査のための指針を作成した。HIV検査・相談マップ（www.hivkensa.com）で指針を公表、あわせて即日検査できる機関の情報を載せている。

2004.6.21 朝日新聞

HIV感染すぐ判明
 厚生省がガイドラインを作成

厚生労働省は、エイズウイルス（HIV）感染の診断と治療に関するガイドラインを作成した。即日検査の指針も盛り込まれている。ガイドラインは、HIV感染の診断と治療に関する最新の知見に基づき、医師が患者の病状や生活習慣などを考慮して、適切な診断と治療を行うための指針を示している。即日検査については、検査の精度や結果の取り扱いなどについて、具体的な指針が示されている。

2004.5.28 神奈川新聞

HIV即日検査普及へ
 試験導入では4倍増に

厚生労働省は、エイズウイルス（HIV）感染の診断と治療に関するガイドラインを作成した。即日検査の指針も盛り込まれている。ガイドラインは、HIV感染の診断と治療に関する最新の知見に基づき、医師が患者の病状や生活習慣などを考慮して、適切な診断と治療を行うための指針を示している。即日検査については、検査の精度や結果の取り扱いなどについて、具体的な指針が示されている。

2004.5.28 福井新聞

HIV即日検査広がる

感染拡大防止に威力
 陽性なら即検査

厚生労働省は、エイズウイルス（HIV）感染の診断と治療に関するガイドラインを作成した。即日検査の指針も盛り込まれている。ガイドラインは、HIV感染の診断と治療に関する最新の知見に基づき、医師が患者の病状や生活習慣などを考慮して、適切な診断と治療を行うための指針を示している。即日検査については、検査の精度や結果の取り扱いなどについて、具体的な指針が示されている。

日本経済新聞(夕刊) 2004.8.3

図12 保健所等無料検査機関
 即日検査導入機関

平成17年3月現在

保健所41ヶ所
 (全国保健所583ヶ所)
 特別検査機関3ヶ所
 (15都道府県)

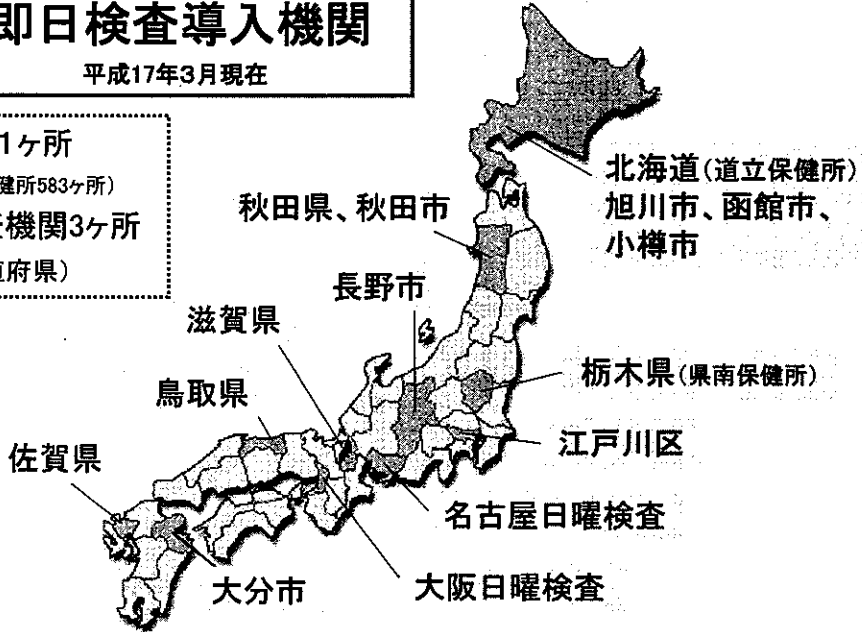
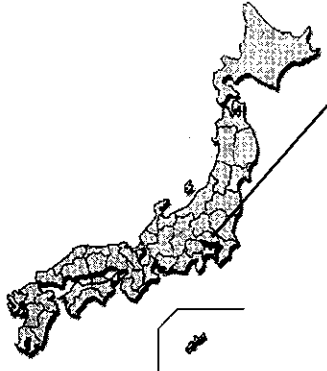


図13

保健所でのHIV即日検査実施状況



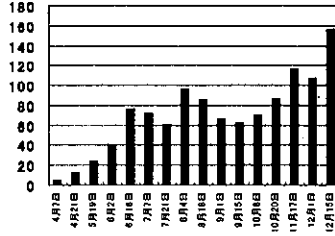
2004年4月から (5月から広報)

江戸川保健所

第1、3 水曜日
14:00~16:00 (受付)

* 性感染症検査
クラミジア抗体検査 1週間後結果返し

2004年検査日別検査数



<2004年 4~12月>

計16回

即日+通常検査数

1135

1回当たり平均

70.9

1回当たり最大受検者数

156 (12月15日)

<2003年度>

計24回

11倍

通常検査数 152

1回当たり平均 6.3



図14

平成17年度 即日検査新規実施・予定機関

- ◆東京都 多摩立川保健所(土曜日月1回) 4月から
杉並保健所(土曜日月1回) 4月から
- ◆栃木県 保健所 5箇所 4月から
宇都宮市保健所 4月から
- ◆千葉県 習志野保健所、君津保健所(全15保健所) 4月から
- ◆兵庫県 保健所6箇所(全13保健所) 4月から
- ◆沖縄県 保健所 6箇所 4月から
- ◆横浜市 土曜特別検査機関(月4回) 5月から
- ◆滋賀県 大津保健所 5月から
- ◆群馬県 保健所 11箇所 5月から
- ◆大分県 保健所5箇所(全10保健所) 5月から
- ◆岡崎市 岡崎市保健所 6月から
- ◆熊本県 保健所7箇所(全10保健所) 6月から
- ◆静岡県 保健所4箇所(全9保健所) 7月から
- ◆神奈川県 日曜特別検査機関(月2回) 8月から

**図15 ホームページ
HIV検査・相談マップ**
http://www.hivkensa.com

2004年12月現在 2001年9月からの
1日平均アクセス数 合計アクセス数
約2300件/日 150万件

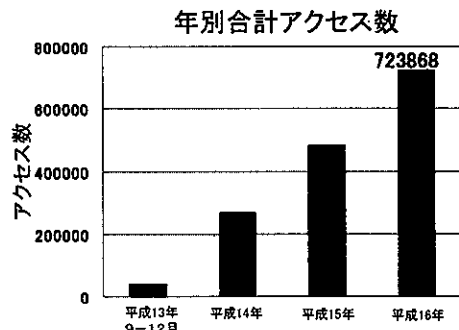
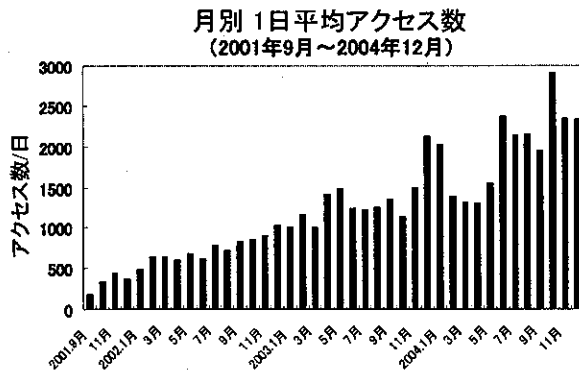
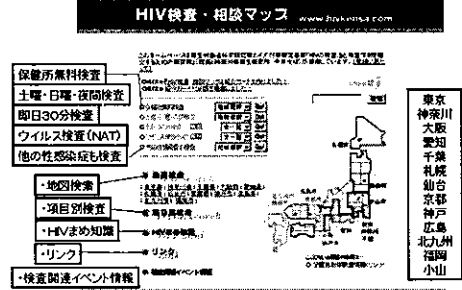
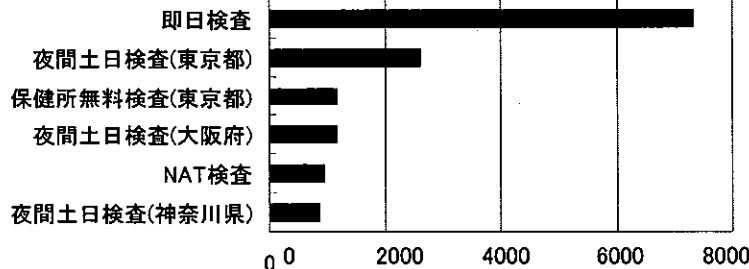
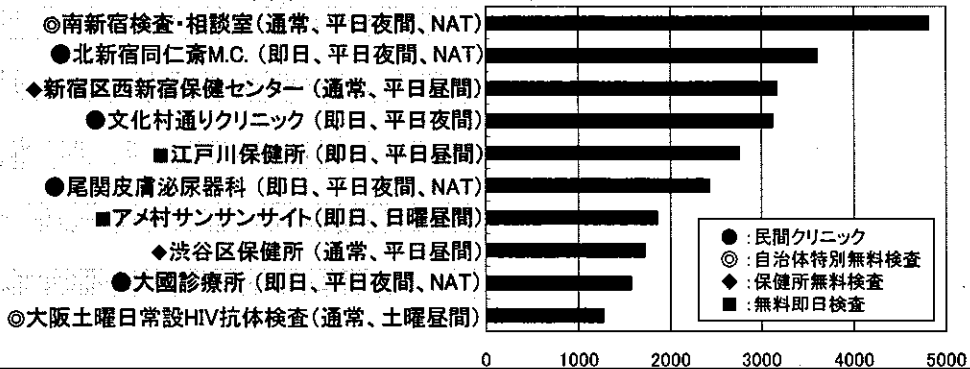


図16 各カテゴリーへのアクセス数 (2004年12月分)



詳細ページアクセス数 (2004年12月分)



A-2. 栃木県県南健康福祉センターにおける即日検査実施状況

一色ミユキ（栃木県県南健康福祉センター）

塚田三夫、潮見重毅（栃木県県南健康福祉センター）

嶋貴子、今井光信（神奈川県衛生研究所）

研究概要

保健所におけるHIV即日検査を導入し、2年を経過した。導入前に比べ、年々増加している。偽陽性率は約2%であった。一方で、HIVと同時に実施している他の性感染症の受検者、結果通知者が減少している。今後、追加検査の導入、性感染症検査方法について検討する予定である。

2003年1月から試験的に導入した。検査受付は毎週水曜日、午後1時から2時の1時間である。(図1) 検体には血清を用いた。

導入当初は、問診に保健師1~2名、採血に臨床検査技師1名、検査に臨床検査技師1名、結果通知に感染症予防担当職員1~2名の配置で行った。(図2) 導入前の2002年1年間の検査数は130件であったのに対し、2003年は453件、2004年は814件と年々増加している。(図3) そのため現在の職員の配置は、問診3~5名、採血1名、検査1名、結果通知2名で行っている。(図4)

2年間の即日検査数は1190検体で、28検体がスクリーニング検査陽性となった。確認検査の結果4件が陽性、24件が偽陽性例と判定された。血清を検体とした場合の偽陽性率は約1%といわれているが、2%と高い割合であった。スクリーニング検査陽性例となった受検者全員に翌週金曜日に確認検査結果を通知した。

受検者の性別は男性が73%を占め、年代別では20代、30代が81%を占めていた。

(図5) 来所者を県内外別にみると、導入当初は県内居住者が約9割を占めていたが、

「HIV検査・相談マップ」から情報を得て県外からの来所が増えてきた。(図6)

検査日に梅毒と性器クラミジア抗体検査を受け付け、梅毒については、即日に結果を返却しているが、性器クラミジア抗体は、翌週金曜日の通知となっている。梅毒の受検者の割合は、導入前後で変化はないが、クラミジア抗体は半減した。(図7) クラミジア抗体の結果通知者割合は、導入前は100%であったが、現在では約6割に留まっている。(図8)

受検者に自記式のアンケート調査を行った。2004年の集計結果を見ると、受けたHIV検査の種類については、95%が「即日検査」を受け、その理由は「できるだけ早く結果を知りたかったから」が92%と、前年同様利便性、より早い感染不安の払拭を求めているようである。(図9) また、受けやすい体制については、「土曜・日曜検査」「即日検査」「夜間検査」実施機関の増設をそれぞれ約半数以上が望んでいた。(図10)

2005年4月から栃木県内の全保健所において即日検査を導入することになった。

今後は、追加検査の導入と他の性感染症検査の方法等について検討していく予定である。

**HIV即日結果返し(即日検査)
試験的導入**

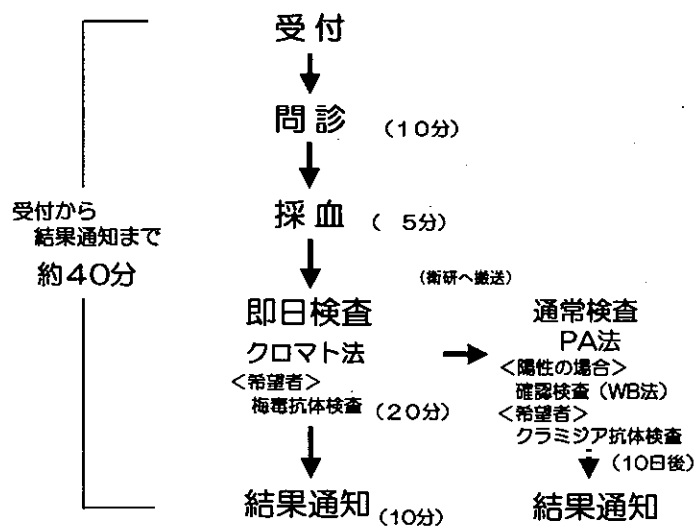


2003年1月から
 <HIV無料・匿名検査機関>
 栃木県県南健康福祉センター
 (県南保健所)
 毎週水曜日 13:00~14:00
 性感染症検査
 ・梅毒抗体検査 即日結果返し
 ・クラミジア抗体検査 10日後結果返し

栃木県県南健康福祉センター
HIV即日検査実施体制

導入当初

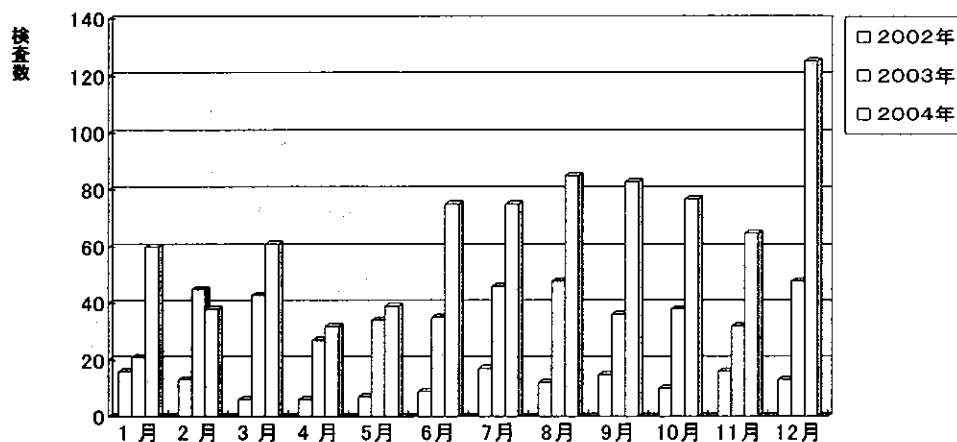
<即日検査フロー>



<保健所の担当人員>

- 保健師 1~2名
- 臨床検査技師 1名
- 臨床検査技師 1名
- 感染症予防担当 1~2名

栃木県県南健康福祉センター
HIV検査総数 月別・年別推移

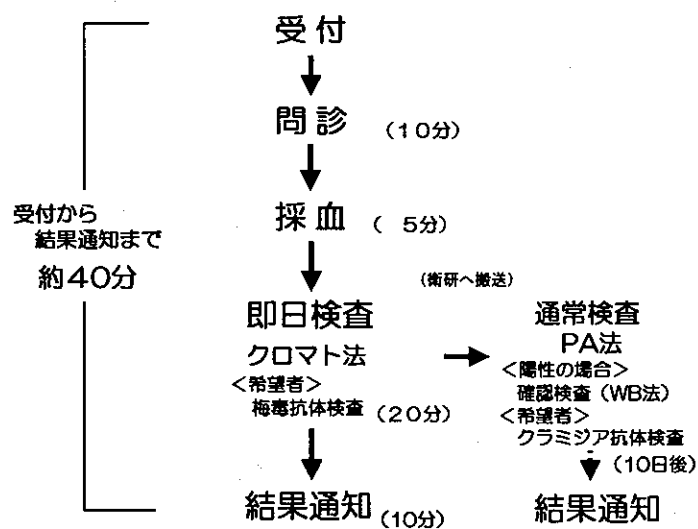


2002年	6	13	6	6	7	9	17	12	15	10	16	13	130
2003年	21	45	43	27	34	35	46	48	36	38	32	48	453
2004年	60	38	61	32	39	74	75	85	83	77	65	125	814

栃木県県南健康福祉センター
HIV即日検査実施体制

現在

<即日検査フロー>



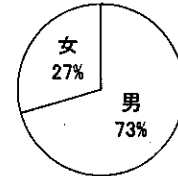
<保健所の担当人員>

- 保健師等 3~5名
- 看護師 1名
- 臨床検査技師 1名
- 感染症予防担当 2名

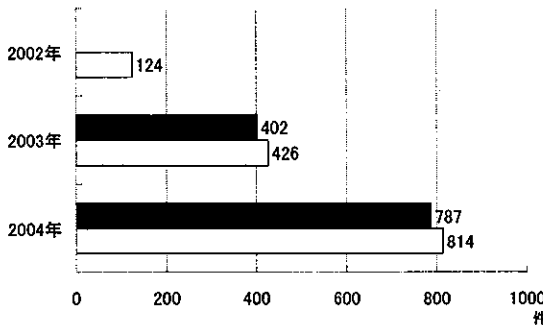
栃木県県南健康福祉センターにおける実施状況

即日検査総数 : 1190件 (2003年~2004年) ※2003年4月分は除く
 確認検査数 : 28件 (確認検査率 2.3%)
 HIV陽性数 : 4件 (陽性率 0.3%)
 偽陽性数 : 24件 (偽陽性率 2.0%)

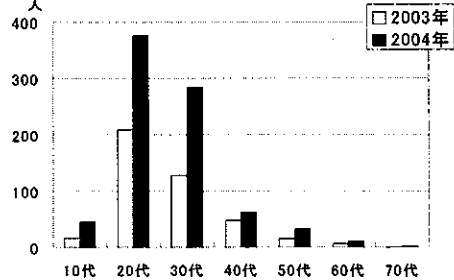
<性別>



<年別検査数推移> ※4月分は除く

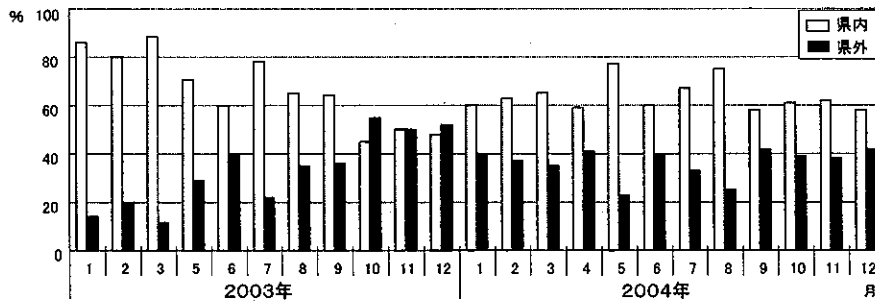


<性別・年代別検査数>



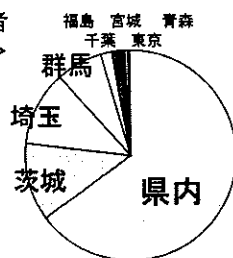
即日検査実施による影響 ③

<即日検査受検者数(県内・県外)>

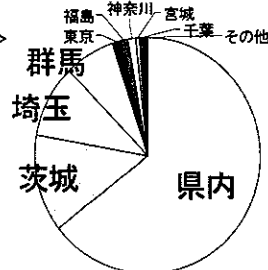


<即日検査受検者居住地割合>

<2003年>



<2004年>



即日検査実施による影響 ①

<性感染症検査 受検者割合>

	梅毒抗体検査	クラミジア抗体検査
2002年1-12月 (4月除く) (通常検査)	76.6% (95/124)	77.4% (96/124)
2003年1-12月 (4月除く)	62.9% (269/428)	32.5% (139/428)
即日検査希望者	62.4% (252/404)	30.4% (123/404)
通常検査希望者	70.8% (17/24)	66.7% (16/24)
2004年1-12月 (4月除く)	76.3% (597/782)	42.8% (335/782)
即日検査希望者	76.2% (576/756)	41.5% (314/756)
通常検査希望者	80.8% (21/26)	80.8% (21/26)

即日検査実施による影響 ②

<クラミジア抗体検査結果通知者割合>

2002年1-12月 (4月除く)	100.0%
2003年1-12月 (4月除く)	80.7%
即日検査希望者	78.0%
2004年1-12月 (4月除く)	63.9%
即日検査希望者	61.8%